

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構建築研究本部

Mail Magazine【建築研究本部かわらばん】VOL.119 2019/6/19

このメールマガジンは、北海道立総合研究機構（道総研：どうそうけん）建築研究本部が、日頃の調査研究、普及業務などで携わっているニュースを中心に、毎月お送りしているものです。

-----  
今月号のトピックス  
-----

■新本部長の就任挨拶

■建築性能試験センターより  
□新部長の就任挨拶

■北方建築総合研究所より  
□研究紹介  
「木質バイオマスエネルギーの高性能な供給・利用システムの開発」

■お知らせ

□「都市計画法・建築基準法制定100周年記念 国土交通大臣表彰」を受賞しました。

□ホームページの更新情報

-----  
■新本部長の就任挨拶

建築研究本部長 兼 北方建築総合研究所長 長浜

6月1日付けで建築研究本部長兼北方建築総合研究所長に着任しました長浜です。旭川とは縁があり、今回が3度目の勤務となります。どうぞよろしくお願いたします。

初めて旭川に勤務した平成14年度は、それまで札幌にあった寒地住宅都市研究所が新たに北方建築総合研究所として旭川に移転した年であり、当時、上川支庁建築住宅係長として開所式に向け奔走した思い出があります。また2度目は平成23年度に居住科学部長として勤務しました。地方独立行政法人北海道立総合研究機構としてちょうど1年が経過したところであり、様々な仕組みも変わる中で、他の研究本部と連携した研究などにも取り組み始めました。

居住科学部長として着任した際のメルマガでは、次のようなご挨拶をさせていただいております。「独立行政法人といえども行政の研究機関であり、研究成果が道民の皆様に対しどれだけの役割を果たすことができるのかが求められます。行政と連携した中でより一層の効果をもたらさなければなりません。そうした視点から業務に取り組んで参ります。」

この考え方は今でもまったく変わっておらず、本道の住宅・建築施策の取り組みは、当研究所の下支えがあるからこそ全国的にも注目される取り組みとなっていると考えております。社会経済情勢の変化により研究環境も変化する中で新たなニーズに対応した取り組みも求められておりますが、どんな状況になっても、常に上記の考え方を中心に置き、これまで以上に気を引き締め、皆様にお役に立てる研究を目指して努力して参ります。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

- ■建築性能試験センターより  
□新部長の就任挨拶

安全性能部長 兼 評価試験課長 奈良

-----  
6月1日付けで道庁建設部から派遣されました、奈良です。  
2018年度の組織改編により新設された「建築性能試験センター」ですが、これまで札幌オフィスに配置していた安全性能部長を、評価試験課長兼務で旭川に配置することとなりました。  
構造計算適合性判定や性能評価試験といった法令等に基づく業務や各種依頼試験など、安全性や信頼性に関わる業務ということで、身の引き締まる思いでおります。  
近年、JNL Aの登録認定を受けるなど、試験品質管理にも取り組んでおりますので、今後とも、センターをご活用いただくとともに、ご意見・ご要望などお聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ▽5月の構造計算適合性判定業務の実績

受付 11件 (15棟)  
結果通知 9件 (12棟)

5月の判定依頼は、市街地再開発に伴う複合施設（共同住宅、駐車場、店舗、通路など）が3件、ホテル、工場、倉庫が各2件、病院、共同住宅が各1件でした。

- ■北方建築総合研究所より  
□研究紹介「木質バイオマスエネルギーの高性能な供給・利用システムの開発」  
(2018～2020年度 重点研究)  
建築研究部 建築システムG 阿部

-----  
近年、低炭素化やエネルギーの地産地消による産業振興・地域経済の活性化のため、木質バイオマスのエネルギー利用が注目されています。限りある地域の森林資源を大切に利用するためには、効率の高いシステムが望まれます。しかし、現状では、木チップの水分が原因となり、ボイラの効率低下、冬季にサイロ内で木チップが凍結し燃料が供給されない等のトラブルが発生しています。また、木質バイオマスのエネルギーシステムの一つに地域熱供給がありますが、温水配管が長くなるため、温水循環ポンプの消費電力量（熱搬送動力）が大きくなり、省エネルギーの観点では課題があります。

以上をふまえ、本研究では、木質バイオマスエネルギーを低コストかつ効率よく利用するため、太陽熱利用により水分15%以下（湿量基準）を目標とする木チップ燃料の低コスト乾燥技術と、カスケード利用及び流量の自動制御により従来の熱供給システムに比べ熱搬送動力を50%削減する技術を開発します。

初年度である平成30年度は、木チップの実験を行い水分の経時変化を把握するとともに、カスケード利用で用いる換気予熱用熱交換装置の検討、建物側の熱需要に応じた流量の制御方法を検討しました。

今年度は、木チップの乾燥建屋を建設し乾燥実験を行うとともに、模擬熱搬送装置を試作し動力の削減効果を検証する予定です。

研究成果は、具体の木質バイオマスに関するプロジェクトに反映させていきたいと考えておりますので、開発する技術に興味のある道内市町村や事業者の方は、お気軽にご相談ください。

- ■お知らせ  
□「都市計画法・建築基準法制定100周年記念 国土交通大臣表彰」を受賞しました。

このたび、北海道立総合研究機構 建築研究本部は、都市計画法・建築基準法制定100周年を迎えるにあたり、国土交通大臣表彰を受賞することになりました。今後とも建築・住まい・地域づくりの分野に関する研究を通じて、北海道が直面する様々な課題解決に貢献してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

■詳細はこちら

<https://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1>

<https://www.bcj.or.jp/news/detail/176/>

-----  
■お知らせ

□ホームページの更新情報  
-----

■2019年5月20日更新

メールマガジン「建築研究本部かわらばん」(vol.118)を配信しました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/koho/newsletter/index.html>

■2019年5月20日更新

平成30年度研究課題一覧を掲載しました(終了課題については研究概要資料を掲載しています)。

<http://www.hro.or.jp/list/building/develop/nenpou.html>

■2019年5月20日更新

平成30年度終了課題の調査研究報告(研究報告書)を掲載しました。

<http://www.hro.or.jp/list/building/develop/houkokusho.html>

■2019年6月14日更新

「都市計画法・建築基準法制定100周年記念 国土交通大臣表彰」を受賞しました。

<https://www.hro.or.jp/list/building/koho/press1>

=====  
管理者からのお知らせ  
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。

登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。

メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_n](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_n)

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせメールフォーム

[https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken\\_q](https://www.hro.or.jp/cgi-bin/mail/index.php?id=hokusoken_q)

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。